

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ④②
『三浦綾子文学記念館』

夏休み、旭川市にある三浦綾子記念文学館を訪ねました。私は学生時代、遠藤周作と三浦綾子の小説に夢中になっていました。どうしても見学したい文学館でした。文学館は、彼女の処女作「氷点」の舞台となった見本林の中にありました。「氷点」はテレビドラマや映画の原作として、何回も取り上げられている物語です。この物語では、主人公の陽子が家族や友人との葛藤の中で、「人はどう生きるのか」「生きるとは多くの人たちを傷つけ、いかに罪の重いものなのか」について考えさせられるお話です。「光・愛・命」が大きなテーマとなっています。中学生になったら、是非読んでほしい本の一冊です。彼女の「塩狩峠」「道ありき」も手にとってほしい書籍です。

中総体の相撲競技。特設の相撲部の皆さんが大活躍をしてくださいました。暁中は県大会団体戦四連覇。神守中と暁中の生徒が個人戦でそれぞれ準優勝・三位となることもできました。全国大会は高知で行われました。相撲の練習はころがる(投げられる)稽古をします。負ける練習をします。スポーツには、少しでも無理をして頑張ることの大切さを教えられます。

8月8日、東小で津島プログラミングプロジェクト(T P P)のプレ大会を実施しました。津島市内の四中が、パフォーマンス部門(ロボットをつかってプログラミングを作成する)・テクニカル部門(プログラミングブロックをつかってプログラミングを作成する)でロボットを操作し、日頃のプログラミング学習の成果を発表しました。部活動の仲間や学級の有志で参加していただきました。初めての大会でしたが、大変見ごたえのあるプレ大会となりました。大学や県の教育委員会、この教材を開発した民間会社などから来賓がおみえになりました。

8月24日、教職員のための研修会で「劇団くつわ」による伊六万歳『御殿の舞』を見学しました。津島神社の社務所で見せていただきました。伝統芸能の尾張万歳を伝承しているグループによる御殿の舞でした。万歳の説明を聞いたあと、七福神との掛け合いを楽しむことができました。見学していただいた先生方の中から、この文化伝承に参加してもよいという方があらわれてくれることを願っています。

令和5年9月6日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視